



環境保護署：大陸からの大気汚染物の影響有無は不確実

中央廣播電臺 www.rti.org.tw 2015-10-27 22:05 新聞引據：中央社

『国外からの空気汚染物が初襲来、明日は最悪』とのメディア報道に対し、行政院環境保護署は、本日（10月27日）、27日から29日にかけては北東の季節風が強まるが、寒気の南下には限度がある；往年と比較しても、今日明日の2日間、台湾が大陸からの空気汚染物質の影響を受けるか否かは不明確だと発表した。

環境保護署は、そのプレスリリースで、秋冬の季節に入り、北東の季節風が強まりますが、これまでの観測経験から、ある気象条件下では大陸からの汚染物質である黄砂やヘイズ（煙霧）の害が寒気に伴い台湾各地の空気品質に影響する可能性はあり、北部が最も顕著なものとなるだろうと発表している。

プレスリリースでは、台湾中南部地区は中央山脈を背に風を受け、大気の拡散条件が悪く、空中に汚染物質が溜まりやすいので、大気品質の悪い率が高まり、国民は環境保護署が発信する空気品質警告に注意して欲しいとされている。

<http://www.rti.org.tw/m/news/detail/?recordId=230475>

..... 以下は中国語原文

環保署：受大陸空氣汚染物影響不顯著

中央廣播電臺 www.rti.org.tw 2015-10-27 22:05 新聞引據：中央社

近日媒體報導「首波境外空污來襲，明天最糟」，行政院環境保護署今天(27日)澄清，27至29日東北季風雖增強，但冷空氣南下有限；與往年相較，今、明兩天台灣受到大陸空氣汚染物影響不算顯著。

環保署發布新聞稿表示，時序進入秋冬季節，東北季風開始增強，根據往年監測經驗，在適當天氣條件下，大陸空氣汚染物沙塵或霾害可能伴隨冷空氣影響台灣各地空氣品質，以北部最為明顯。

新聞稿表示，台灣中南部地區位處中央山脈背風面，常因大氣擴散條件不佳，空氣中汚染物容易累積，空氣品質不良的機率增加，請民眾適時注意環保署發布空氣品質預警資訊。